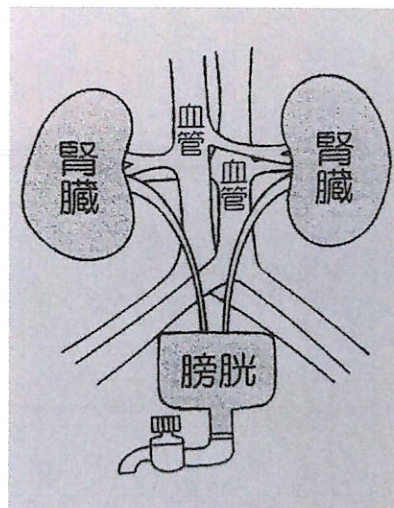


尿検査にあたって

腎臓は、おなかの背中側に左右ひとつずつあり、握りこぶしより少し大きい、そら豆の形をした臓器です。

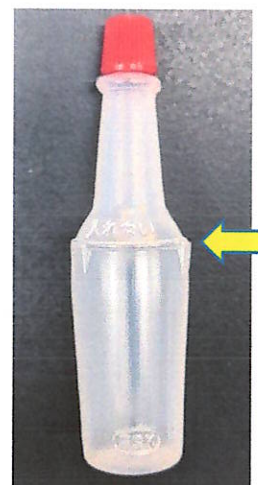
腎臓は、毎分約1リットルの血液をろ過して、体内で余分になった水分や塩分、老廃物を尿として排泄し、体の水分や血液中に溶けている多くの成分を一定に保ちます。また、造血や骨の代謝に必要なホルモンの生成なども行います。

腎臓病や糖尿病は自覚症状が少ないため、気がつかないうちに病気が進行してしまうことがあります。しかし、定期的に尿検査を行うことでこれらの病気を早期発見することができますので、忘れずに提出してください。



尿のとり方

1. 就寝直前に必ず排尿してください。
2. 朝、起きてすぐ(洗面、着替え、食事等より前に)尿をとります。
尿は出始めと終わりをさせて、同封のコップにとってください。
3. プラスチック容器のフタをとり、中心部を指でつまみ、なかの空気をできるだけだしてから、尿を吸い上げてください。
4. プラスチック容器のフタをしっかりとめます。
5. 提出用の袋に、学校(園)名、組、名前を書いて尿をとった容器をそのまま入れて入り口を2回折ってください。
(ホチキスや、のりづけは不要です。)



矢印以上入れない

注意事項

1. 生理中及び生理後3日以内の方は、生理が終わった後、2次検査の時に提出してください。
(提出日は保健の先生等の指示に従ってください。)
2. 1次検査で異常のあった方は2次検査を実施してください。
(これは、即病気を意味するものではありません。より詳しい検査をするためと理解してください。)
3. とり終わったコップはゴミ箱へ捨ててください。

委託実施機関



一般財団法人東京顕微鏡院
TEL.042-525-3733